

⚠ 施工方法

屋外壁への施工

屋外壁 乾式工法

【乾式接着剤張り工法】

推奨サイディング(窯業系無塗装サイディング)、モルタルを下地として、推奨接着剤で直接タイルを張り付ける工法です。

※施工A、Cは状況により、①か②のどちらか適切な工法を選択してください。

施工A	①市販の5mmクシ目ゴテでクシ目を立てて均一に広げ、平ゴテ部で平滑にしないでタイルを張って仕上げてください。セメント系ストーンは、裏面にも接着剤を塗布してください。 ②市販の10mmクシ目ゴテでクシ目を立てて均一に広げ、平ゴテ部で平滑にしないでタイルを張って仕上げてください。タイル裏面へ接着剤を塗布する必要はありません。
施工B	市販の5mmクシ目ゴテでクシ目を立てて均一に広げ、平ゴテ部で平滑にしてからタイルを張って仕上げてください。
施工C	①市販の5mmクシ目ゴテでクシ目を立てて均一に広げ、平ゴテ部で平滑にしないでタイルを張り、接着剤が硬化した後に目地詰めをして仕上げてください。セメント系ストーンは、裏面にも接着剤を塗布してください。 ②市販の10mmクシ目ゴテでクシ目を立てて均一に広げ、平ゴテ部で平滑にしないでタイルを張り、接着剤が硬化した後に目地詰めをして仕上げてください。 ※厚く大きなサイズのストーンは施工中に垂れる事がありますので、釘、スペーサー等を利用し接着剤が硬化するまで垂れさせない工夫が必要です。

木造建築物推奨適用範囲

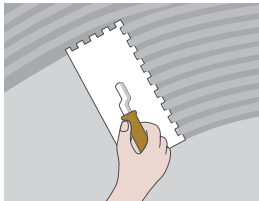
●1階壁面まで	上弦壁、ルブラ、プレイヴストーンII、スプリットストーン
●3階壁面まで	上弦壁以外の対応製品

※悠匠壁〜ゆうしょうへき〜(200×30×23ボーダー単独)、ピュアアタックIIは、木造建築物には使用できません。

RC造建築物推奨適用範囲

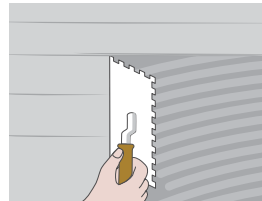
●3階壁面まで	グリッドライン、漣〜さざなみ〜、ラインバー、モダンボーダーII、フェザーロックシリーズ、マジカルライトストーンシリーズ、マジカル砂岩ボーダー
●1階壁面まで	悠匠壁〜ゆうしょうへき〜(200×30×23ボーダー単独)、上弦壁、ピュアスタックII、ルブラ、プレイヴストーンII、スプリットストーン
●15階壁面まで	施工A、施工B、対応シリーズで上記以外の製品

施工A



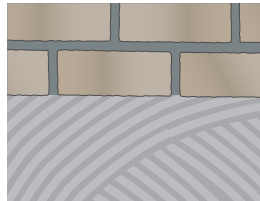
クシ目ゴテでクシ目を立てて接着剤を均一に伸ばし、糸目地にしてタイルを張り付けます。

施工B

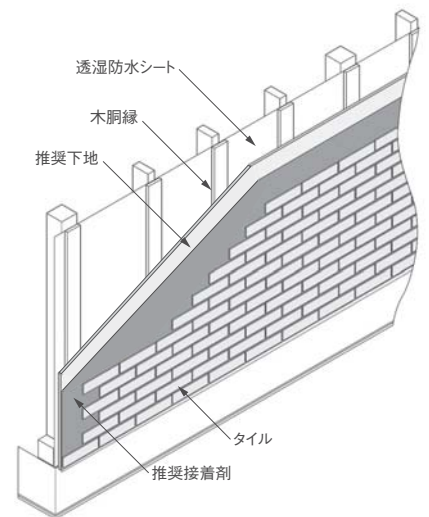


クシ目ゴテでクシ目を立てて接着剤を均一に伸ばし、平滑に均してタイルを張り付けます。

施工C



クシ目ゴテでクシ目を立てて接着剤を均一に伸ばしてタイルを張り付け、その後目地詰めを行います。



※施工中にタイル裏面を確認し、接着剤付着面積が60%以上あるか確認してください。ない場合は塗布量を増やしてください。

■適用下地※1

推奨下地材、モルタル下地、押出成形セメント板、ALCパネル※2

■推奨下地材

旭トステム外装株式会社 / AT-WALL 塗り壁14
ニチハ株式会社 / タイルベースW WYBASE14
吉野石膏株式会社 / デラクリートセメントボードシステム

※1 / サイディングメーカーから設計・施工マニュアルを取り寄せてご確認ください。ただし、タイル接着に関しては、弊社の標準施工方法をご参照ください。推奨品以外をご使用の場合は、事前の接着性能チェックが必要です。また推奨下地材は、品番によって寒冷地仕様の有無や防火措置に違いがありますので、サイディングメーカーの設計・施工マニュアルでご確認ください。

※2 / JASS19 陶磁器質タイル張り工事(建築工事標準仕様書・同解説 日本建築学会)に規定する条件に従って施工してください。